

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成25年9月30日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成25年10月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【9月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

9月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷となった。

「前年をかなり上回った」のは、さといもの1品目である。

「前年を上回った」のは、はくさい、ほうれんそう、ばれいしょの3品目である。

「前年並み」は、にんじん、キャベツ、ねぎ、レタス、たまねぎの5品目である。

「前年を下回った」のは、だいこん、トマト、ピーマンの3品目である。

「前年をかなり下回った」のは、きゅうり、なすの2品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、9月の野菜価格は、総じて前月並みの価格となった。

「前月平均を大幅に上回った」のは、レタス、なすの2品目である。

「前月平均をかなり上回った」のは、だいこん、キャベツ、きゅうり、トマトの4品目である。

「前月平均を上回った」のは、ほうれんそう、ピーマンの2品目である。

「前月平均をやや上回った」は、はくさいの1品目である。

「前月平均並み」は、さといも、たまねぎの2品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、ねぎの2品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、ばれいしょの1品目である。

【10月の見通し】

① 入荷量の見通し

10月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年を下回って入荷が見込まれる。

「前年を大幅に上回る」のは、北海道主体のきゅうり、トマトの2品目である。

「前年並み」は、北海道主体のレタス、ピーマンの2品目である。

「前年を下回る」のは、北海道主体のにんじん、キャベツ、ばれいしょ、たまねぎ、高知県、茨城県及び群馬県主体のなすの5品目である。

「前年をかなり下回る」のは、北海道主体のはくさい、ほうれんそう、ねぎの3品目である。

「前年を大幅に下回る」のは、北海道主体のだいこん、宮崎県、埼玉県及び千葉県主体のさといもの2品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、10月の野菜価格は、総じて前月並みの価格が見込まれる。

「前月平均をやや上回る」のは、トマトの1品目である。

「前月平均並み」は、きゅうり、なす、さといもの3品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、にんじんの1品目である。

「前月平均を下回る」のは、だいこん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、ばれいしょ、たまねぎの8品目である。

「前月平均をかなり下回る」のは、ピーマンの1品目である。

※ この資料の内容は、9月26日（木）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	10月の入荷量			10月の卸売価格			10月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	○	△	△	△	○	○	北海道(98.6%)
にんじん	○	△	△	△	○	=	北海道(100.0%)
はくさい	△	△	△	△	○	=	北海道(99.8%)
キャベツ	=	△	△	△	○	○	北海道(96.2%)
ほうれんそう	△	△	△	△	=	○	北海道(99.3%)
ねぎ	△	△	△	△	△	=	北海道(99.7%)
レタス	△	=	=	△	○	○	北海道(63.7%)
きゅうり	○	○	○	=	○	○	北海道(80.5%)
なす	○	△	△	=	○	○	高知(57.5%)、茨城(28.3%)、群馬(5.9%)
トマト	○	○	○	○	△	○	北海道(94.8%)
ピーマン	○	=	○	△	○	○	北海道(88.8%)
ばれいしょ	△	△	△	△	○	=	北海道(100.0%)
さといも	△	△	△	=	○	○	宮崎(61.9%)、埼玉(8.1%)、千葉(2.0%)
たまねぎ	△	△	△	△	○	=	北海道(99.7%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い